

KG-NET・関西圏地盤DB運営機構  
(KG-A: Kansai Geo-informatics Agency)

DB 利用会員手続書 (KG-C 利用会員用)

平成 17 年 4 月 1 日

## KG-NET・関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 参加規則

平成 17 年 4 月 1 日 制定

## 第 1 章 総 則

第 1 条 この規則は、KG-NET・関西圏地盤DB運営機構（以下、「DB 機構」という）に参加する DB 利用会員（以下、「会員」という）の参加規則を定めたものである。なお、KG-NET は、関西圏地盤情報ネットワークの略称である。

## 第 2 章 目 的

第 2 条 会員は、関西圏地盤情報データベース（以下、「データベース」という）を広く公益のために利用することを目的とする。ここで、「公益」とは、学術的研究、防災、一般も含む建設事業の安全・効率化等の広い意味での公共の利益に寄与する活動のことをいう。

## 第 3 章 会 員

第 3 条 会員は、次の 2 種よりなる。

- (1) KG-C 利用会員 関西圏地盤情報協議会の構成員でデータベースを利用するもの
- (2) 一般利用会員 データベースを利用する一般の法人または組織

2 会員の入会及び退会の手続きは、書面の提出をもって行う。

3 会員は、代表者や連絡担当者に変更のある時は、DB 機構に速やかに書面で連絡する。

## 第 4 章 データベースの利用

第 4 条 会員は、データベースの利用に際して、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守する。また、一般利用会員は、入会時に「データベースの利用に関する誓約書」を提出する。

2 データベースの提供は、「関西圏地盤情報 CD-ROM」（以下、「CD-ROM」という）等で行う。この頒布は、毎年開催する「DB 利用連絡会」（以下、「連絡会」という）において行う。

3 CD-ROM の使用有効期限は、翌年度の 9 月 30 日までとする。CD-ROM は、1 枚で 1 CPU の利用とする。

4 KG-C 利用会員は、「関西圏地盤情報データベース 利用登録書」を連絡会の開催日までに DB 機構に提出する。

## 第 5 章 会費とデータベース利用の権利

第 5 条 会員は、毎年、DB 利用会費（以下、「会費」という）を DB 機構に支払う。会費額は、年 10 万円とする。

2 会費の請求は年度始めに行う。年度途中の入・退会に対して会費の減額・返金は行わない。

3 会員は、会費の納入をもってデータベースを利用する権利を得ることとする。

## データベースの利用に関する取り決め

関西圏地盤情報協議会  
関西圏地盤DB運営機構  
平成17年4月

関西圏地盤情報協議会(以下、「KG-C」という)が管理し、関西圏地盤DB運営機構(以下、「KG-A」という)が運営する関西圏地盤情報データベース(以下、「データベース」という)は、以下の取り決め事項を遵守の上、利用していただきます。

## 1. 利用手続き

データベースは、KG-Aの所定の手続きに従って入会の申込みを行い、入会が許可されたDB利用会員(以下、「会員」という)のみが利用することができます。

会員のうち一般利用会員は、本取決めの内容を遵守する旨の「データベースの利用に関する誓約書」をKG-Aに提出しなければなりません。

## 2. 利用目的

データベースの利用は、学術的研究や防災、一般も含む建設事業の安全・効率化などの広い意味での公共の利益に寄与するものでなければなりません。

## 3. データ利用上の責任

データベースは、データ入力品質確保に努めていますが完全なものではありません。また、原データの品質についても吟味が十分ではありません。データの信頼性については、データベースの多数のデータをもとに利用者の責任で判断してください。KG-C及びKG-Aは、一切の責任を負いません。

## 4. データベースの管理

データベースは、会員の責任において管理してください。適正な管理と利用がなされない場合は、利用権の取り消し(返却)を求める場合があります。この場合は、利用会費の返金はいたしません。

データベースは毎年度定期的に新しいデータの追加された新しいデータベースと交換します。

## 5. 不正使用、第三者への譲渡の禁止

データベースのデータの所有権は提供機関に帰属し、KG-Cはデータベースを管理・所有しています。よって、データベースをいかなる事由によっても無断で複製することを禁じます。

また、データベースは、会員以外の第三者に譲渡してはなりません。

## 6. 利用成果の公表

データベースを利用して得られた成果を公表する場合は、「関西圏地盤情報データベースを利用」した旨を公表物に明記してください。また、公表物をKG-Aに送付してください。

---

注) データの転売、営業、建築確認申請等における虚偽の利用等は、データ公開の趣旨に反する行為であり、データベースの利用目的としては認められません。

## 関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 入会申込書 (KG-C 構成員用)

DB利用会員 (KG-C 利用会員) として入会を申し込みます。

平成 年 月 日

## 1. 申込者 (代表者)

機 関 名 : \_\_\_\_\_

代表者氏名 : \_\_\_\_\_ 印

代表者役職 : \_\_\_\_\_

住 所 : 〒 \_\_\_\_\_

電 話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

## 2. 連絡担当者 (利用責任者)

担当者氏名 : \_\_\_\_\_

部署・役職 : \_\_\_\_\_

住 所 : 〒 \_\_\_\_\_

電 話 : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

E-mail : \_\_\_\_\_

会報等は E-mail で送信いたしますので、必ずご記入ください。

## 3. 関西圏地盤情報協議会の会員種別

KG-C 行政構成員

KG-C 公益構成員

## 4. データベースの利用

関西圏地盤情報データベースの利用に際しては、「データベースの利用に関する取り決め」を遵守します。

---

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

関西圏地盤DB運営機構 DB利用会員 退会届 (KG-C 利用会員用)

DB 利用会員 (KG-C 利用会員) を退会します。

平成 年 月 日

1. 会員

機 関 名 : \_\_\_\_\_

代表者氏名 : \_\_\_\_\_ 印

代表者役職 : \_\_\_\_\_

住 所 : 〒 \_\_\_\_\_

2. 提供データ

関西圏地盤情報協議会に提供した地盤データについては、協議会に扱いを一任します。

---

提出先 : (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤DB運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

## 関西圏地盤情報データベース 利用登録書 (KG-C 利用会員)

データベースの利用及び CD-ROM 利用部署を以下のとおり届けます。

平成 年 月 日

## 1. 会員 (連絡担当者)

機関名: \_\_\_\_\_

申請者: \_\_\_\_\_ 所属・役職: \_\_\_\_\_

連絡先: \_\_\_\_\_

電 話: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

## 2. 利用部署

	利用部署	保管責任者	電話	FAX
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

利用枚数が 10 枚を超える場合は、別途経費が必要です。

その場合は、本紙をコピーして「2 枚目」と明示してご記入ください。

提出先: (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤 DB 運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253

平成 年 月 日

関西圏地盤 D B 運営機構 御中

(機関・申請者名, 印)

### 関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出利用申込

下記目的により, 関西圏地盤情報データベースのデジタルデータ貸出利用を申し込みます。  
なお, データの利用に際しては「データベースの利用に関する取り決め」を遵守します。また,  
データは, 提供を受けた日から 1 年間を経過した時点で速やかに返却します。

### 記

**利用目的 (名称):** 索引となる程度に簡単に記述する

**具体的な内容:** 具体的に記述する

**対象地域:** 例えば“大阪市此花区および大正区”, 別途地図を提示

**利用者・連絡先:** 会員機関名, 担当者名, 所属・部署, 連絡先, 電話番号を明記

**貸出料請求先:**

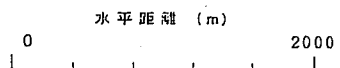
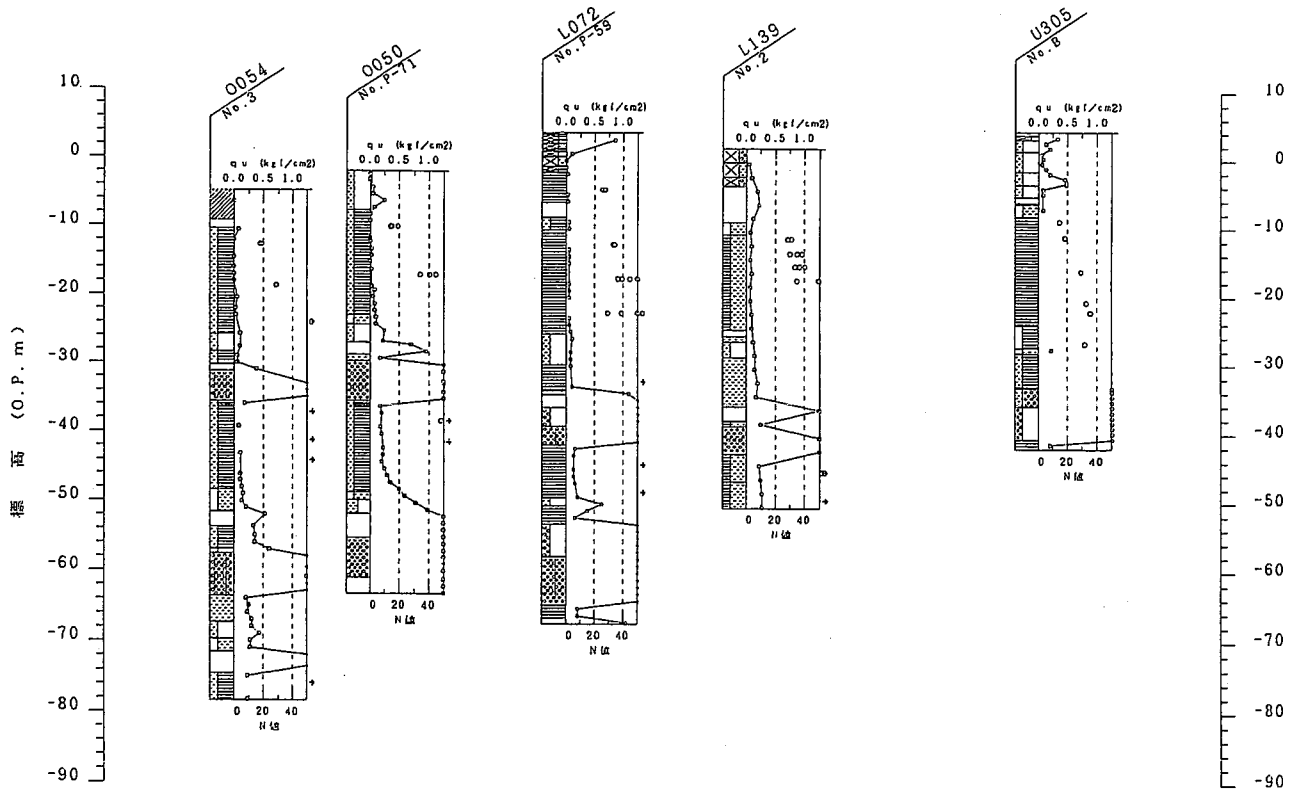
---

提出先: (財)地域地盤環境研究所 (関西圏地盤 D B 運営機構)

〒550-0012 大阪市西区立売堀 4-3-2 TEL:06-6539-2972 FAX:06-6578-6253



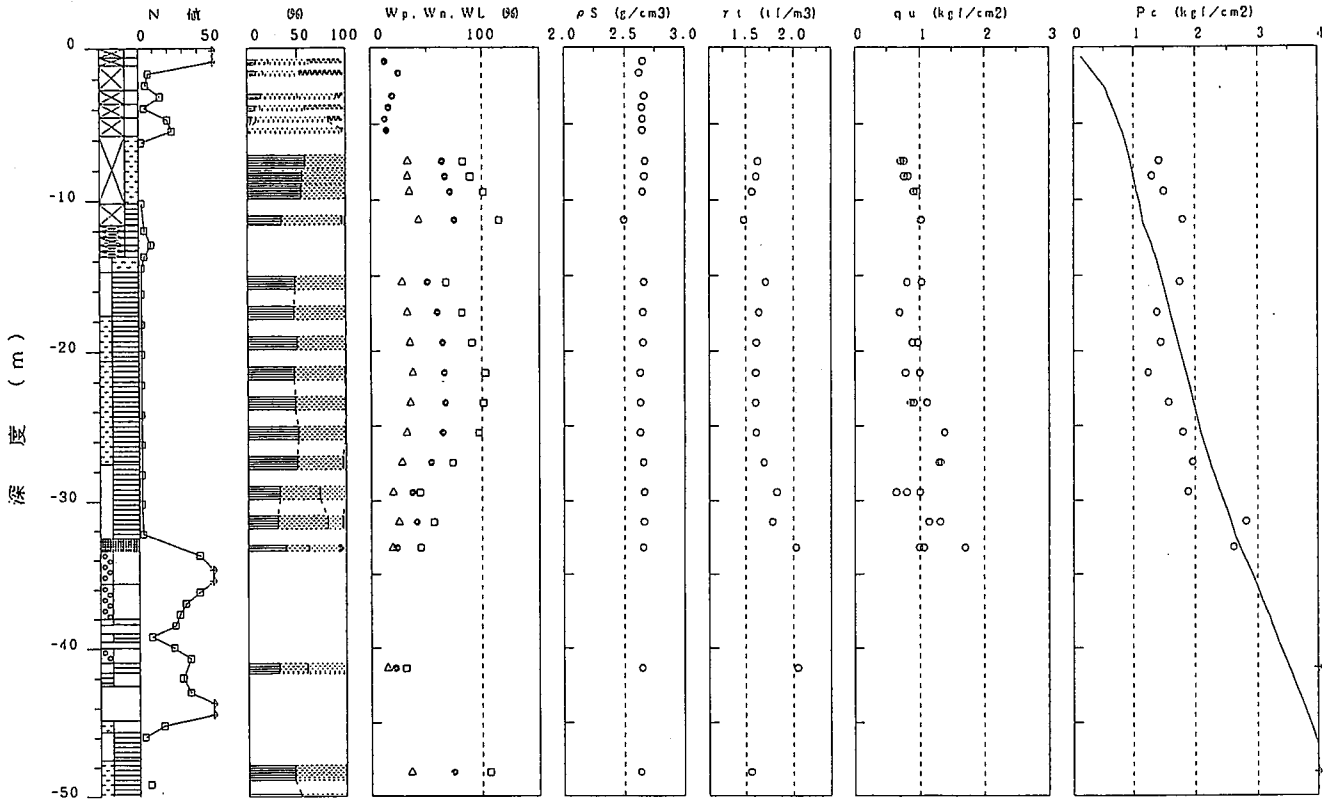
調査位置からの検索



断面図

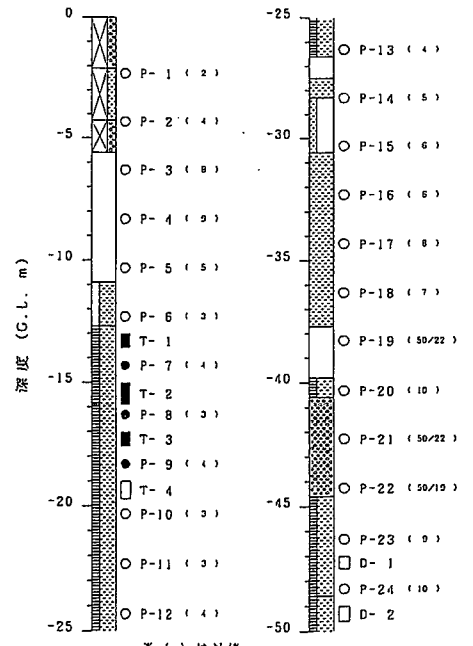


(孔名) No.1 (場所) 大阪市住之江区  
 地盤高: O.P. 5.25 (m) 掘進長: 73.30 (m) 地下水位: GL- 2.60 (m)



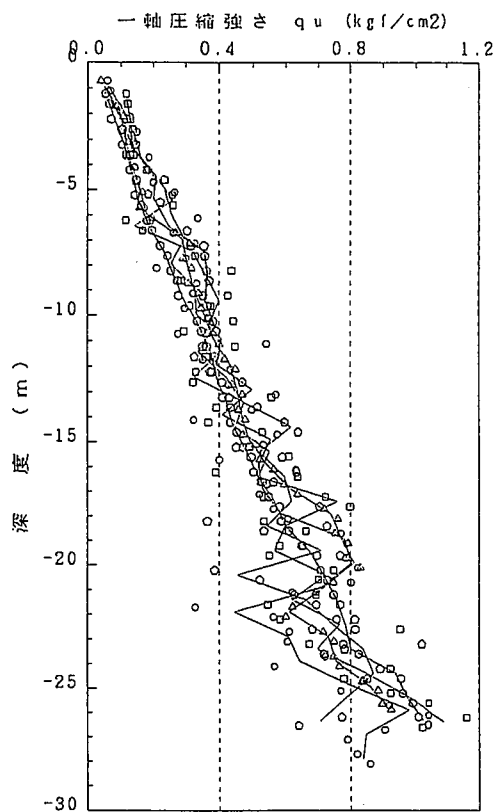
土性図

試料番号	T-1	P-7	T-2	P-8	T-3	P-9
深度 (GL-m)	13.00 ~ 13.50	14.15 ~ 14.45	15.00 ~ 15.90	16.15 ~ 16.45	17.00 ~ 17.60	18.15 ~ 18.45
液性限度 $\rho_l$ (g/cm <sup>3</sup> )	1.711		1.680		1.632	
塑性限度 $\rho_p$ (g/cm <sup>3</sup> )	1.135		1.069		0.992	
土粒子密度 $\rho_s$ (g/cm <sup>3</sup> )	2.501	2.625	2.655	2.540	2.576	2.653
自然含水比 $w_n$ %	62.6	56.7	59.8	58.7	69.2	64.9
開隙比 $e$	1.291		1.493		1.597	
飽和度 $S_r$ %	102.2		101.9		104.1	
粒						
砂分 75- $\mu$ m %	0	0	0	0	0	0
シルト分 75- $\mu$ m %	66	75	62	68	55	45
粘土分 5 $\mu$ m未満 %	33	23	37	30	44	51
均等係数 $U_c$	-	-	-	-	-	-
曲率係数 $U_c$	-	-	-	-	-	-
50%粒径 $d_{50}$ mm						
コンシステンシー						
液性限界 $w_L$ %	108.7	96.5	113.6	101.4	120.9	110.8
塑性限界 $w_p$ %	35.8	31.7	33.8	39.5	31.8	35.6
塑性指数 $I_p$	72.9	64.8	79.8	61.9	89.1	75.2
液性指数 $I_L$	0.37	0.39	0.33	0.31	0.42	0.39
分類	CH	CH	CH	CH	CH	CH
一軸圧縮						
一軸圧縮強さ $q_u$ (kgf/cm <sup>2</sup> )	0.739		0.853		0.922	
繰返し強さ $q_{1/2}$ (kgf/cm <sup>2</sup> )	0.080		0.152		0.095	
繰返し比 $S_t$	9.2		5.7		9.7	
三軸圧縮						
全応力 $c$ (kgf/cm <sup>2</sup> )						
有効応力 $c'$ (kgf/cm <sup>2</sup> )						
圧密						
圧縮係数 $C_c$	0.492		0.608		0.558	
圧密終極応力 $P_c$ (kgf/cm <sup>2</sup> )	1.01		0.950		0.880	
圧密係数 $C_v$ (cm <sup>2</sup> /day)	284.6		77.60		116.5	
$q_u$ (kgf/cm <sup>2</sup> ) (c196)	0.730 (7)		0.755 (9)		0.915 (5)	
" (c207)	0.776 (7)		0.875 (8)		0.840 (4)	
" (c307)	0.710 (7)		0.950 (6)		1.01 (4)	
" (c407)						



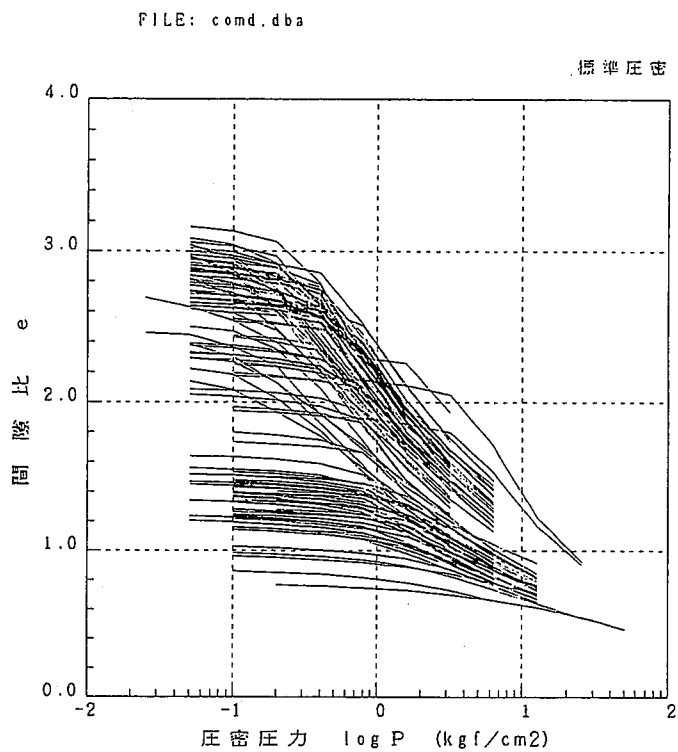
(孔名) No.2 期間 1974.215 ~ 1974.3.1  
 (場所) 大阪市此花区桜島町  
 地盤高 O.P. 1.70 m 掘進長 52.45 m  
 Rep. - U403 Ber. - L139

試験結果一覧表

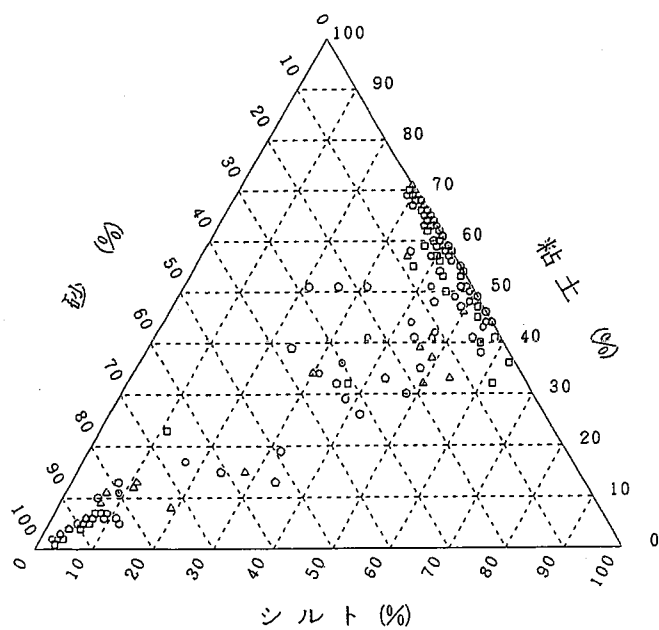


FILE: comd.dba

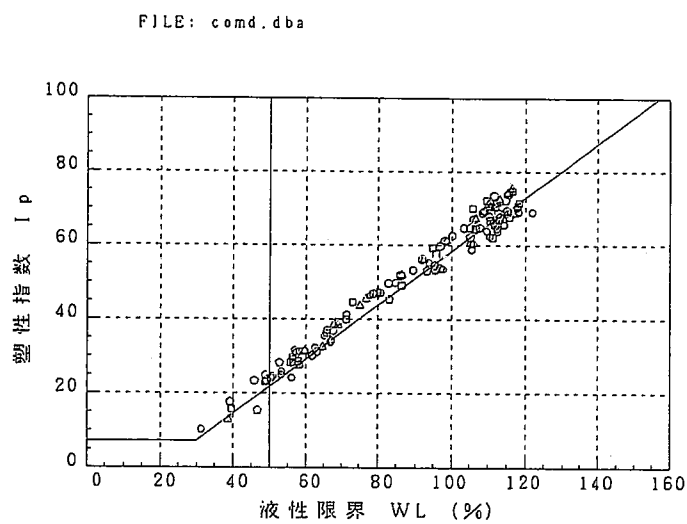
深度分布図



圧密関係図



三角座標分類



相関図 (塑性図)